

報告事項 1

第19回愛知県教育委員会教職員表彰式について

のことについて、別紙資料に基づき報告します。

令和7年11月12日

教 職 員 課



# 第19回愛知県教育委員会教職員表彰式について

## 1 日 時

2025年11月11日（火） 午後3時から午後4時まで

## 2 会 場

愛知県庁本庁舎 2階 講堂

## 3 被表彰者数

### ア 教職員表彰

89人（幼稚園関係1人・小中学校関係67人・県立学校関係18人  
事務職員関係3人）

### イ 若手教職員等奨励賞

6人（小中学校関係3人・県立学校関係3人）

## 4 表彰要件

### ア 愛知県教育委員会教職員表彰

教職員経験年数が10年以上あり、かつ、年齢が35歳以上の者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者
- (2) 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者
- (3) 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

### イ 愛知県教育委員会若手教職員等奨励賞

教職員経験年数が10年未満であり、かつ、年齢が50歳未満の者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者
- (2) 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者
- (3) 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

【参考】  
被表彰者の状況

(表の見方)  
各項目左側に合計、右側上段に教職員表彰、右側下段に若手教職員等奨励賞を表示している (単位:人)

合計	教職員表彰
	若手教職員等奨励賞

区分	候補者数	被表彰者数	表彰該当項目 (表彰要綱第2条)					
			1		2		3	
幼稚園	2	2	1	1	0	0	0	1
		0		0	0	0	0	0
小学校	46	44	45	43	3	3	26	14
		2		2	0	27	1	1
中学校	28	26	25	24	2	1	14	9
		2		1	1	14	0	0
高等学校	22	15	14	11	4	3	8	0
		7		3	1	10	2	0
特別支援学校	9	9	7	7	1	1	1	5
		0		0	0	1	0	0
事務	6	5	3	3	0	0	3	0
		1		0	0	3	0	0
合計	113	101	95	89	10	8	52	29
		12		6		2	3	1

(備考) 表彰該当項目

- 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者
- 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者
- 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

各被表彰者の表彰該当項目については名簿に記載

## 主な受賞者の紹介

### 1 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者

○瀬戸市立品野中学校 栄養教諭 栗田 陽子 (名簿番号 49)

#### 【若手教職員等奨励賞】

栄養教諭として、複数校の教職員、調理員、物品納入業者など、さまざまな立場の人と協働している。温和で誠実な人柄から、円滑な人間関係を築きながら、使命感をもって真摯に業務に取り組んでいる。複数校を兼務する中で、現任校以外でも食育の充実を図るために、各校の実情に応じて食育講座の実施や動画を活用した指導を続けており、積極的に力を注いでいる。

特に中学生への朝食指導に尽力し、2021年度からは、家庭科教員とのチームティーチングなど工夫を凝らしながら、朝食の摂取回数や内容の改善を目的とした指導を継続的に行い、成果をあげている。今年度は「朝食の重要性を理解し、栄養バランスを考えて毎日朝食を食べる子どもの育成」をテーマに、愛知県栄養教諭研究大会で実践を発表した。

さらに、市アレルギー対応委員会の委員を長年務め、生徒や保護者に寄り添いつつ安全を最優先にした取組を進め、瀬戸市における先進的な給食のアレルギー対応に大きく貢献している。



「中学生に熱心に食育指導を行う栗田栄養教諭」

○愛知県立犬山総合高等学校 教諭 武田 直己 (名簿番号 75)

#### 【若手教職員等奨励賞】



「生徒に英語で語りかける武田教諭」

総合学科推進部主任として、総合学科開設時より、計画立案から運営までのスケジュールを綿密に練り上げ、ワーキングチームを牽引し、現行の総合学科設立に多大な貢献をした。

特に、「探究型総合学科」の位置づけを明確にするため、国内外の各種文献を研究し、県内外において、先進的な取組をする学校を視察し、好事例等を多く学んだ。その成果を基に、特色のあるPBL（問題解決学習）型授業の企画・立案をし、「産業社会と人間」及び「総合的な探究の時間」の一連のプログラムを構築した。このプログラムにおいて、生徒の自己肯定感、自己有用感を向上させる工夫を随所に施すことで、生徒の主体性の向上に寄与している。また、明朗快活な人柄であるため、地域の方々とも交流を深め、開かれた学校づくりにも貢献している。

## 2 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者

### ○大治町立大治南小学校 教諭 水野 育太 (名簿番号 21)

#### 【教職員表彰】

広い視野と豊かな見識、行動力を活かし、生徒指導や教育研究においても強いリーダーシップを発揮している。傾聴の姿勢があり、常に相手の立場や思いを尊重した対応をするため、職員のみならず、児童や保護者、地域の信頼も厚い。

防災教育や食農教育においても活動の中心となり、地域との窓口を担ってきた。その際、学校と地域が活動の目的や内容を共有し、円滑に活動できるよう、双方の思いに耳を傾けながらきめ細やかに連絡調整を行った。さらに、活動後は検証を行い、各学年が今後も無理なく実施することができるよう、教育課程に防災・食農活動を位置づけた年間計画をまとめ上げた。2023年度に第1回あいち食農教育表彰奨励賞を受賞、2025年度に防災功労者内閣総理大臣表彰を受けるなど、現任校における持続可能な防災教育・食農教育の推進に大いに貢献した。



「児童の目線で語りかける水野教諭」

### ○愛知県立大府高等学校 教諭 石神 有介 (名簿番号 79)

#### 【教職員表彰】



「生徒の意見に耳を傾ける石神教諭」

明朗快活な人柄で、高い倫理観と信念を持ち、教育活動に意欲的に取り組んでいる。理科教員として、2023年度から2024年度にかけて、県立高等学校教育課程課題研究の研究員を務め、「探究の過程」を踏まえた授業改善に向けて研究を進めた。2024年度には全国理科教育大会にて、研究協議の意見提示者としてその成果を発表した。さらに、2025年度には、高等学校教育課程研究員研修会に参加し、自身の研究の成果を県下の高等学校や本校の理科教員に還元した。

また、教務主任として、各種内規を見直し、成績処理に関わるシステムを改善するなど、教務関連の校務を見直すことで、校内における業務の効率化の推進にも貢献しており、教育活動の中心として活躍し、周囲の教員からの信望も厚い人物である。

○愛知県立御津あおば高等学校 教諭  
【教職員表彰】

生徒一人一人を大切にし、深い愛情と情熱をもって粘り強い指導をする姿は、他の教職員の模範となっている。特に2023年度から、全日制と昼間定時制を併置した本校において、2つの課程を兼務する初めての学年主任として、経営の難しさに腐心しながらも、学年を持ち上がり現在は第3学年主任を務めている。生徒は、外国にルーツをもつ生徒、不登校を経験してきた生徒、特別な支援を必要とする生徒など、多様性に富んでいるが、生徒指導主事などのこれまでの経験を活かし、卓越した指導力をもって生徒の指導にあたっている。さらに、経験の浅い担任に寄り添い、的確な助言を行うなど、学年主任としてリーダーシップを大いに発揮している。2025年度のフレキシブルハイスクール開校に際しては、パイオニア的な役割を果たすなど、愛知の教育の発展のために尽力している。



「保健の授業で生徒に語りかける加藤教諭」

○豊橋市立幸小学校 主査 清水 麻美子 (名簿番号 95)  
【教職員表彰】

校長、教員等と連絡、協力し学校活動が円滑に行われるよう留意し、学校の明るい雰囲気づくりに貢献している。2018年度から2024年度まで豊橋市の学校教育課題に関する教育委員会が所管する委員会に所属し、課題解決にむけて教員、教育委員会とともに尽力した。

2024年度から愛知県公立小中学校事務職員研究会会計として、会計面から研究会の方向づけを行い、県全体の事務職員の在り方や、共同学校事務室についての研究の一翼を担っている。

2020年度から現在に至るまで豊橋市ブロック共同学校事務室長として、共同学校事務室の円滑な運営に努め事務職員の校務運営参画を進めている。2023年度はICT教育支援、2025年度は給食会計への事務職員の関わりについて、共同学校事務室での実践成果を市内事務職員に対し発表した。事務職員のやる気を引き出し、中堅事務職員に活躍の場を与えることで、事務職員全体のスキルアップを図っている。



「同僚職員から信頼の厚い清水主査」

### 3 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

#### ○犬山市立犬山西小学校 教諭 森山 友起（名簿番号 7）

##### 【教職員表彰】

明朗快活な人柄で、教科指導全般や特別支援教育に造詣が深く、職員一人一人の教師力向上を見据えた働きかけができ、学校運営の中心として活躍している。また、校務主任として児童や教職員が過ごしやすい校内環境の整備に努め、防災や安全に対する指導にも積極的に取り組んでいる。

2010 年度に尾張教育研究会英語部会で「ひとりひとりが豊かに表現できる英語科の学び」をテーマに丹葉支部の代表として授業を行った。2016 年度から 3 年間特別支援学級の担任を務め、障害の有無に関わらず、多様な子どもたちが共に学べるインクルーシブ教育を進めた。

また、2024 年度より特別支援教育コーディネーターとして、校内の特別支援教育の支援体制の構築に尽力し、様々な障害のある児童や、その保護者に寄り添い、丁寧な指導と対応を続けている。さらに、本年度は教科指導員（英語）としても活躍中である。



「特別支援学級の児童に指導する森山教諭」

#### ○岡崎市立美川中学校 教諭 松金 正樹（名簿番号 58）

##### 【教職員表彰】



「楽しい数学科の授業を展開する松金教諭」

論文においては、2007年度に優秀賞、2006、2009、2011年度に佳作を受賞、さらに「算数科の深い学びを実践する21の授業づくり」（大平社・2024年発行）で小学4年生の実践を執筆するなど、授業研究に熱心である。2009年度から13年間、岡崎市現職研修委員会算数数学部の世話係を務め、算数数学部の発展に貢献している。

穏やかで誠実な人柄であり、温かいまなざしで生徒たちに寄り添う姿は教職員の模範となっている。数学科教育に造詣が深く、同僚教職員への的確に助言している。また、校務主任補佐兼学年主任として、学校の中心的役割を担い、教職員を牽引したり丁寧に接して支えたりするなど、若手教員の指導にも力を発揮している。

2009、2011年度に全国算数・数学研究大会で実践提案を行い、岡崎市教育

6

○愛知県立みあい特別支援学校 教諭 星野 貴美（名簿番号 88）  
【教職員表彰】

知的障害がある児童生徒に対する確かな教育実践を求め、長年に渡り自己研鑽に努めている。現在は、自立活動部主任として学校内外で活躍している。校外では、地域の研修会や県総合教育センター主催の研修において講師を歴任し、若手教員や中堅教員の専門性の向上に大きく貢献している。校内では、自主研修会を開いて講師を務め、障害特性の捉え方や「自立活動」



「外部専門家の方と意見交換する星野教諭」

の考え方を分かりやすく説明し、校内における教育活動の資質向上に寄与している。また、地域の方々からの信頼も厚く、夏季に実施している「自作の教材・教具、書籍の展示」においては、参加者からの質問に丁寧に応じている。また、校内の教員から寄せられる、児童生徒に関する課題について、外部専門家とともに考える機会を設定し、相互に授業見学や意見交換をしやすくするなど、ファシリテーターとしての役割も果たしている。

## 教職員表彰受賞者名簿

## 【幼稚園】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
1	1	阿久比町立 ほくぶ 幼稚園	主任 教諭	こがの 古賀野 ゆみ	女	3	担任として支援を要する園児が在籍する中、共に育ち合う学級経営に尽力した。現職教育主任として研究を進め、教育の質の向上に貢献した。また、自主研修を他市の主任教諭と共に企画し、地区の幼児教育の質の向上等に力を入れている。現在、主任教諭として園長の補佐をしながら指導の幅を広げ、実践力や理解力向上につなげるために活躍している。

## 教職員表彰受賞者名簿

【小学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
2	1	一宮市立向山小学校	教諭	すみだ しょうた 隅田 翔太	男	2	一宮市教科等指導員として社会科教育の高い専門性を活かし、児童の学ぶ意欲を高める学習指導法の確立に尽力した。また、一宮市学習指導法研修会講師や一宮市初任者研修示範授業では確かな実践に基づく指導を通して、教職員の力量向上に大いに貢献した。教職員に対して的確かつ丁寧な指導を行い、厚い信頼を得ている。
3	1	一宮市立北方小学校	教諭	いしまつ てるみ 石松 照美	女	3	道徳を中心に、わかる・できる・身につく授業の実践に努めてきた。2013年度から3年間は、道徳の教科等指導員として市内小学校の現職教育で適切な指導・助言を行った。また、校内では、2023年度から3年間、現職教育研究主任として教員に適切に助言するなど、リーダー的存在として教員の力量向上に努めた。
4	1	一宮市立起小学校	教諭	たき 滉 瀧 賢一	男	1	図書館教育において、図書館利用と探究的な活動を取り入れた実践、ビブリオバトルを用いた実践など、多様な指導方法を駆使し、児童の読書意欲を高め、情報収集・分析・発信能力を育成した。また、2018年に全国学校図書館研究大会で研究成果を発表するなど研鑽を重ね、図書館教育の普及に努め、他の教職員の模範となっている。
5	1	春日井市立坂下小学校	教諭	せきね ゆか 関根 由佳	女	2	春日井市教務主任会役員として、各校の課題整理・解決に尽力し、教育活動の活性化に貢献している。また、春日井市の音楽科研究会を長年牽引し、責任感と着実な実行力で音楽教育の改善・充実に多大な成果を上げている。誠実な人柄で、学校内外からの信頼も厚い。
6	1	春日井市立神領小学校	教諭	やまうち けい 山内 啓	男	3	教務主任として誠実かつ前向きな姿勢で学校運営を牽引し、優れた情報収集力と連携力で教職員の士気を高めている。ソーシャルスキルトレーニングを通じ、児童生徒の成長を支援した。また、県総合教育センターや春日井市教務主任会で研修講師や研究推進部長を務め、若手育成や授業改善にも貢献している。
7	1	犬山市立大山西小学校	教諭	もりやま ゆき 森山 友起	女	3	明るく元気に、笑顔を心がけ、職場の人間関係にも気を配り、職員一人一人の教師力向上を見据えた働きかけができ、学校運営の中心として活躍している。英語科教育に造詣が深く尾張教育研究会で授業者を務めた。特別支援教育や、保護者や地域との関わりについて、これまでの経験を踏まえ、他の職員の相談に対して適切に助言ができる。
8	1	小牧市立味岡小学校	教諭	すずき かなこ 鈴木 佳菜子	女	3	音楽専科教員として、児童に寄り添った授業を実践している。また、鑑賞単元において身体的表現を取り入れたり、4つの音楽領域をまたいで学びを往還させる単元構成による授業を行うなど、児童が主体的・創造的に音楽活動に取り組み、2022年に尾張教育研究会愛日支部音楽研究会で発表した。
9	1	小牧市立篠岡小学校	教諭	とくみつ のぶたか 徳光 伸孝	男	2	特別支援教育に関する取組を継続して行っている。通級指導担当教員として、近隣4小中学校で巡回指導をしている。2019年度に国立特別支援総合研究所で自閉症に関する研修を受け、翌年度、県の特別支援教育担当主事会で講師を務めた。また、2022年度には市特別支援教育研究会の代表として、小牧市の取組を県内の教員に発表した。
10	1	稻沢市立祖父江小学校	教諭	すずき けいた 鈴木 啓太	男	2	外国語科教育に関する知識と指導技術に優れ、県総合教育センターの外国語科教育の研究協力委員として活躍したり、稻沢市の教科等指導員として学校訪問や少経験者研修において授業力向上に向けた指導助言を行ったりするなど、外国語科教育の充実のために貢献している。
11	1	尾張旭市立三郷小学校	教諭	さとう えり 佐藤 恵理	女	2	体育の実技指導について、様々な視点で研究・実践・指導をし、研究報告や論文としてまとめている。2012年度には、マット運動の指導をテーマに尾張旭市教育論文に応募し、最優秀賞を受賞した。また、2018年度に行われた愛日地方教育事務協議会委嘱の研究発表において、授業研究部で中心的な役割を果たした。

## 教職員表彰受賞者名簿

【小学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
12	1	岩倉市立 岩倉北 小学校	教諭	いとう 伊藤 弘信	男	3	児童同士の関わりを意識した学級経営を進めており、学年主任としても、現職教育主任としても意欲的な教員集団にまとめ上げる力量がある。すべての児童の学びを保障するために、所属校をはじめ市内小中学校の現職教育を中心となり牽引とともに、最新の情報を集め、自己研鑽に励む姿は、他の模範である。
13	1	清須市立 清洲 小学校	教諭	かとう 加藤 美世子	女	3	特別支援教育に関する造詣が深く、2021年度には尾張教育研究会特別支援教育愛日支部で研究発表し、2022年度には愛知県特別支援教育推進連盟に研究論文を提出するなど、特別支援教育を推進している。愛情をもって児童に接するため、児童や保護者から信頼されている。同僚性も高く、7学級ある特別支援学級のリーダー的存在として活躍している。
14	1	北名古屋市立 栗島 小学校	教諭	かい 甲斐 佳奈子	女	2	2023、2024年度愛日地方教育事務協議会委嘱「学習指導」研究発表会で、研究推進役となつて、国語科指導の充実を目指した研究に力を發揮した。その成果を市内にとどまらず、西春日井地区内に広げようと尽力している。教育に対する使命感も高く、優れた指導力を生かし、学習指導の改善に取り組み、他の教職員の模範となつた。
15	1	長久手市立 北 小学校	教諭	いとう 伊藤 敦美	女	2	常に最新の教育動向を把握し、課題意識をもつて授業改善に取り組んでいる姿勢は、他の教職員の模範となっている。2023年度に愛知地区校内現職教育の講師を務め、I C T機器を効果的に活用する授業について指導・助言を行つた。また、2024年度に日進市現職教育委員会特別支援教育部会の代表として、地区的通級指導の充実に寄与した。
16	1	東郷町立 高嶺 小学校	教諭	うえの 上野 太輔	男	2	教職員への適切な助言や、真摯で誠実な仕事ぶりから、他の教職員の模範となっている。特別支援教育コーディネーターとして、校内の特別支援教育の体制づくりに尽力している。2021年度から2023年度まで、尾張教育研究会学校図書館教育研究会の愛日支部の事務局を務め、地区の図書館教育の発展に寄与した。
17	1	大口町立 大口北 小学校	教諭	ふるはし 古橋 祐一	男	3	大学院での研究経験を活かし、現職教育では分かりやすく研究の方向性を示唆したり、大口町教育研究会での授業研究発表会に向けて適切な助言をするなど、町内の教師指導力向上の一翼を担っている。さらに、個別の支援についても様々な研修を企画運営し、特別支援教育の理解を深めるなど継続した活躍は、他の模範となっている。
18	1	津島市立 西 小学校	教諭	おがさわら 小笠原 一高	男	2	教職員とのコミュニケーションを大切にし、教務主任として授業力向上に尽力し諸課題を踏まえて教育活動へ意欲的に関わる姿は、他の教職員の模範である。柔軟な姿勢で保護者対応や児童への指導を進め、特別支援教育の経験を生かし各種研修会の助言者を務めるなど、厚い信頼を得ている。
19	1	愛西市立 佐屋西 小学校	教諭	おかだ 岡田 博	男	2	穏やかで誠実な人柄から信頼が厚い。教務主任として、初任者をはじめ教職員への適切な指導・助言を行う。研究主任として研究課題を的確に捉え、授業改善に尽力している。愛知県中小学校体育連盟の相撲競技の普及に貢献し、全国中学校相撲選手権大会の競技役員として運営に携わるなど、長年の功績により愛知県中小学校体育連盟から表彰を受けた。
20	1	あま市立 甚目寺東 小学校	教諭	いまい 今井 良剛	男	3	2012年度から音楽科教育研究会で発表者等を務め、研究活動の推進に地道に取り組み、教科教育の充実に貢献した。さらに教務主任として、学校運営や生徒指導、教育行政にも継続して関わり続けている。また、校内の教員の授業力向上に尽力し、他の教職員の模範となっている。
21	1	大治町立 大治南 小学校	教諭	みずの 水野 育太	男	2	地域と学校の思いを尊重し、各学年の教育課程に防災・食農活動を整理し位置づけ、年間計画を作成した。2023年度第1回あいち食農教育表彰奨励賞を受賞し、持続可能な防災・食農教育の形をつくり上げた。校内では広い視野と見識、謙虚な姿勢を併せ持ち、職員のみならず児童や保護者からも厚い信頼を得ている。学校運営の中心を担う存在である。

## 教職員表彰受賞者名簿

【小学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
22	1	半田市立半田小学校	教諭	すぎら 杉浦 寿哉	男	2	2020年度に知多地方教育計画案(保育科)作成委員、2023年度から2025年度は愛知県中小学校体育連盟知多支所書記を務める等、体育分野の重要な役割を担っている。校内では特別支援教育コーディネーターとして、保護者の思いを丁寧に汲み取り、教職員の困り感に寄り添いながら助言したりすることができるため、周囲からの人望が大変厚い。
23	1	常滑市立常滑東小学校	養護教諭	たけうち 竹内 佳子	女	2	養護教諭として、校内のみならず、校外においてもその力を十分に發揮してきた。特に、2023年度からは、アレルギー対応関係の委員として、豊富な知識と経験を生かした発言で、常滑市のアレルギー対応マニュアルの作成に尽力した。また、学校現場の声を大切にしながらヒヤリハット事例集の作成にも尽力した。
24	2	東海市立富木島小学校	教諭	あんどう 安藤 佑馬	男	2	勤務校の教育理念の1つである「共生」を十分理解し、関連付けて「パラリンピック教育」を自ら実践するとともに、今までにない実践を他学年にも取り入れることでパラリンピック教育の推進に大いに貢献した。誰からも学ぼうとする謙虚な姿勢は、他の職員の手本となっており、学校の中心的な役割を担い、活躍している。
25	1	南知多町立篠島小学校	教諭	たかなみ 高浪 光生	男	2	2018年度から5年間にわたり現職教育主任を務め、「児童が『わかる・できる』を実感できる授業」の研究を推進した。2024年度から南知多町学校視聴覚教育研究部会の研究推進教諭を務め、「未来を切り拓き、人間性豊かでたくましく生きる」をテーマに研究を行い、町内小中学校の情報モラル教育の再構築に寄与した。
26	1	武豊町立衣浦小学校	教諭	きよかわ 清川 奈美	女	2	特別支援教育に関する造詣が深く、特別支援教育コーディネーターとして、適切に務め、他の模範となっている。愛知県主催の特別支援教育に関する研究に携わったり、県総合教育センター主催の特別支援教育に関する講師や助言者を務めたりして、愛知県全体の特別支援教育の推進に努めている。
27	1	岡崎市立羽根小学校	教諭	くろやなぎ 畔柳 愛美	女	3	長年、特別支援教育に携わり、子供の特性に合わせた指導ができる。岡崎市現職研修委員会特別支援教育部会の世話係を4年間務め、市内の特別支援教育を推進している。岡崎市教育委員会特別委員会「月報『岡崎の教育』編集委員会」も3年間務めている。保護者への対応、若手への指導が丁寧で、周囲からの信頼も厚い。
28	2	岡崎市立井田小学校	教諭	やすはら 安原 宏紀	男	3	2024年度より岡崎市現職研修委員会社会科部世話人を務めている。授業研究に大変熱心に取り組み、岡崎市教育研究論文では2019、2021、2022、2024年度に佳作を、2020年度には優秀賞を受賞している。また、岡崎市教育委員会特別委員会「ICT教育推進委員会」の委員を2年間(2024、2025年度)務めており、市内のICT教育の牽引役となっている。
29	1	刈谷市立小高原小学校	教諭	まんねん 万年 由佳	女	2	児童に寄り添いながら支援を行い、安心して学べる学級づくりに尽力した。教職員には温かな助言と配慮で支援し、信頼関係を築きながら指導力向上を支えている。刈谷市教育研究会生活副部長として運営に携わり、授業づくりでは魅力ある実践を追求し、三河地区授業力向上研修での授業公開を含め、校内外での授業公開を通して研鑽に努めている。
30	1	豊田市立挙母小学校	養護教諭	みうら 三浦 美貴	女	2	高い危機管理意識と自己研鑽の意識をもち、子どもたちの心と体の健康に関する組織的な校内の指導体制構築を進めるとともに、ブロック共同研修において経験の少ない養護教諭をサポートするなど、市の中心として活躍している。自身の経験や学んだことを生かして、具体的で適切な指導・助言ができるため、校内外の教職員からの信望が非常に厚い。
31	1	豊田市立高嶺小学校	教諭	あんどう 安藤 拓磨	男	2	2018年度から春日井市立尾東小学校、2020年度から愛知教育大学附属特別支援学校に勤務し、児童自立支援・特別支援教育について学び、他にも多くの委嘱を受け、地区の特別支援教育・技術科・生徒指導・べき地教育等の発展に尽力した。 2024年度から教務主任を務め、現職教育において「高嶺式アクセスメント」を提唱し、所属教員の資質向上に貢献した。

## 教職員表彰受賞者名簿

【小学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
32	1	豊田市立 浄水 小学校	教諭	しのはら 篠原 啓史	男	2	2019年度から2020年度に豊田市教育委員会指定多文化共生推進校の研究推進主任として、ユニバーサルな授業スタイル等を発表した。また、2022年度から3年間、豊田市教科領域等指導員を務め、社会科教育の中心的な役割を果たし、市教員の資質向上に大きく貢献した。誠実に教育活動に取り組み、周りからの信頼が厚く、他の模範である。
33	1	安城市立 安城南部 小学校	教諭	なかむら 中村 一代	女	1	教育研究および道徳教育に関する造詣が深く、「子どもたちが主体的に学び、仲間と議論し、納得解を生み出す道徳科の授業」を目指す研究に熱心に取り組み、第35回中部地区小学校道徳教育研究大会でその成果を発表した。また、研究主任として校内の研究を推進するなど、学習指導、道徳教育の分野でリーダー的存在として活躍している。
34	1	安城市立 二本木 小学校	教諭	さいとう 齋藤 綾子	女	1	長年日本語指導に取り組み、外国人児童に対して日々丁寧且つ工夫した実践を重ね、N I E 教育の活用や対話を大切にした取組などを通して、中部地方の顕著なN I E 指導者として、2024年度中日いきいき学習賞を受賞した。誰も取り残さない教育を信条とした多文化共生教育を推進し、同分野の第一人者として大きな成果を上げている。
35	1	西尾市立 花ノ木 小学校	教諭	かみや 神谷 厚毅	男	3	算数・数学科や特別支援教育に関する造詣が深く、愛知県内の小中学校で講師を務め、県内教員の授業力向上に貢献した。愛知県総合教育センターでは研究指導主事として、教員サポートシステムの立ち上げや、全国学力・学習状況調査の結果分析などに携わり、愛知県内の教員の資質向上に貢献した。地道に教育活動に取り組む姿は、他の教職員の模範となっている。
36	1	西尾市立 八ツ面 小学校	教諭	こじま 小嶋 やすよ	女	2	勤務校では若手の授業力育成に情熱をもって取り組み、2023年度には校内自主研修会を発足した。互いの授業を参観させ、協議会をもつ取組を継続している。2021年度より2年間、西尾市教科等指導員（生活）を務めた。また、講師として市内3校に関わり、研究発表会で指導・助言を行った。
37	1	知立市立 知立 小学校	教諭	かわばた 川畑 けん	男	3	自主的にボランティア活動や研修に参加するなど防災教育に熱心に取り組み、市教育委員会主催研修講座では複数年講師を務めている。教職員の意識向上に大きく寄与している。また、学級づくりの教育研究を推進し、研究をとおして、若手教員の授業力向上に大きく力を尽くした。他の教職員の模範となっている。
38	1	みよし市立 中部 小学校	養護 教諭	あ主の 天野 智加子	女	3	みよし市の主任養護教諭として、養護教諭部会の資質向上や執務環境の改善に尽力してきた。児童生徒の健康課題に向き合い、部会としての研究実践が市内全体に広がる活動として定着している。誰に対しても優しく、真摯な姿勢で寄り添う姿が、同僚や家庭、地域からの深い信頼となっている。
39	1	幸田町立 坂崎 小学校	教諭	やまもと 山本 弘文	男	2	確かな教育観と幅広い見識をもち、子どもに寄り添い、主体性を大切にした教育活動を実践している。常に改善や改革の意識で物事を見つめ、取り組む姿勢は、他の教職員の模範となっており、同僚や保護者からの信頼が厚い。校内だけでなく、地区全体のミドルリーダーとして活躍している。
40	1	豊橋市立 八町 小学校	教諭	なかの 中野 千晶	女	2	全国初となる公立小学校でのイマージョン教育コースの準備段階から携わった。イマージョン主任として、学級担任とALTが日常言語として英語を用いる2人体制による授業を構築し、特色ある教育活動を開発・実施し、児童の英語活用能力と国際感覚を育成した。豊橋市のイマージョン教育を成功させる上で、絶大な貢献をした。
41	1	豊橋市立 福岡 小学校	栄養 教諭	やまもと 山本 加奈子	女	3	長年にわたって食に関する指導を実践し、食物アレルギーなどの食に関する課題に適切に対応している。豊橋市教科等指導員（栄養）として、他の栄養教諭をリードし全市の中心的な役割を果たしている。校内では食指導に対し、担任や関係職員と協働し、家庭への働きかけも熱心に行うなど、他の模範として活躍している。

## 教職員表彰受賞者名簿

【小学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
42	1	豊橋市立 汐田 小学校	教諭	河合 伸和	男	2	豊橋市教科等指導員（生徒指導）を4年間務め、各校からの訪問要請や相談などに積極的に取り組んだ。小さな自信と自己肯定感を養う生徒指導の実現に向けて、心理カウンセラー等の資格を取得し、日々の教育に活かした。子どもの幸せを願い率先垂範する姿に、同僚や保護者からも絶大な信頼を得ている。
43	1	豊川市立 桜木 小学校	教諭	夏目 直子	女	2	生徒指導担当として、広い視野から一人一人の児童理解に努め、担任や関係職員と連携して全校児童の健全育成を支えている。2022年度より豊川市小中学校教科等指導員（生活・総合的な学習）として、市内小中学校における授業づくりなどに関して適切な助言を行い、市内外の教員研修や教育活動を推進している。
44	1	蒲郡市立 三谷 小学校	教諭	市川 三咲	女	3	誰もが居心地のよい学級・学校づくりを継続して行い、児童や保護者、教職員からの信頼が厚く、他の模範としての地位を確立している。人事交流で愛知県立豊川特別支援学校に勤務した経験を活かし、蒲郡市内の特別支援教育の中心として活躍している。自らの実践と適切な助言により、後進の育成に尽力している。
45	1	田原市立 大草 小学校	教諭	宮田 順子	女	2	教育に対する熱意と真摯な姿勢で、児童生徒一人一人を大切にした指導を行い、周囲からの信頼が厚い。田原市小中学校教科等指導員（理科）として、市内教員の授業づくり等に関して、適切な指導・助言を行った。現在は、研究発表校の教務主任としてユニバーサルデザインを取り入れた教科指導の研究推進に取り組んでいる。
46	1	新城市立 鳳来寺 小学校	教諭	繁田 幹江	女	2	国語教育において児童が主体的に学ぶ授業作りに取り組み、2017年度には第2回全国国語実践研究会愛知大会で、2018年度には第48回全国小学校国語教育研究大会名古屋大会で実践を発表した。2021年度には、新城市的教科指導員となり、市内の小中学校に出向いて指導に当たり、本市の教員の国語の授業の授業力向上に寄与した。

## 教職員表彰受賞者名簿

【中学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
47	1	一宮市立西成中学校	教諭	中村 映子	女	2	学年主任を務め、生徒への的確な指導に加え、教師集団のリーダーとして力を発揮している。教科指導においても、2019年度には音楽科の教科等指導員や、第16回東海北陸小中学校音楽教育研究大会愛知大会委員を務め、音楽教育の推進に取り組んだ。また、吹奏楽部の地域行事での演奏披露を積極的に行い、地域との連携を進めている。
48	1	一宮市立木曽川中学校	教諭	平松 佳大	男	3	中学社会科の学習指導法評価研究委員会委員を長年務め、学習指導や生徒指導の第一線で活躍するとともに、指導的な立場も数多く経験するなど、リーダーシップと実務能力に秀でている。組織の中の自らの役割と立場を理解し、報告・連絡・相談を適切に行い、見直し・改善の視点をもって職務を遂行する。
49	2	瀬戸市立品野中学校	栄養教諭	栗田 陽子	女	1	栄養教諭として、様々な立場の人と協働し使命感をもって真摯に仕事に向き合っている。研究熱心で食育の成果も上げている。瀬戸市アレルギー対応委員会の委員を6年間務め、瀬戸市における給食のアレルギー対応の先駆者として活躍してきた。また、令和7年度愛知県栄養教諭研究大会で今までの食育指導の成果を発表した。
50	1	春日井市立高森台中学校	教諭	長繩 正芳	男	2	一人一台端末やクラウド環境を生かした授業研究に熱心に取り組み、学校の授業改善を牽引している。また、教務主任として文部科学省指定の研究開発学校の取組を推進し、児童生徒の情報活用能力の育成に尽力している。情報教育分野において校内外で高い評価を得ており信望も厚い。
51	1	江南市立布袋中学校	養護教諭	榎 智子	女	3	明るく、周囲に対して親身になって接する姿から、信頼が厚い。誠実かつ献身的に生徒の心身の健康を守る実践を積み重ね、生徒自分が自らの健康や感情と向き合うことができるよう導いている。また、教職員にとっても、心身の健康管理の面で大きな支えとなっている。継続して教育活動を推進し、他の模範となる教職員である。
52	1	小牧市立味岡中学校	教諭	堀部 恵	女	2	数学教育の指導法の改善に取り組み、2015年『数学的な見方・考え方のよさを実感できる授業を目指して』のテーマで執筆した教育論文が市内で秀逸に選出されるなど、市内の数学教育を牽引する存在である。何事にも、労を惜しまず地道に取り組むため職員の信頼も厚い。
53	1	稻沢市立大里中学校	教諭	野村 恵理	女	2	教育的愛情に溢れ、何事に対しても親身かつ誠実に対応する姿勢は、他の模範となっている。美術教育に造詣が深く、2007年度から2009年度、稻沢市造形教育研究部会推進委員を務め研究推進に寄与した。その成果をまとめ、2008年度に稻沢市教育実践論文で入賞、2009年度には愛知県造形教育研究大会で発表した。
54	1	豊明市立沓掛中学校	教諭	岩倉 貴子	女	2	現職教育主任として、「自ら考え、進んで学ぶ生徒の育成」をテーマに協同の学びを推進した。教務主任として、「協同の学び」を推進すると共に、豊明市協同の学び推進委員として尽力している。また、今年度愛知地区教研教務主任会の研究推進委員長を務めている。学校運営では、中心的存在として活躍しており、同僚からの信望も厚い。
55	1	大府市立大府中学校	教諭	富田 哲平	男	2	教務主任として学校教育活動の企画・運営・改善に取り組み、職員への指示や指導を的確に行っている。校内現職教育の推進体制を整備し、職員が主体的に授業力向上に取り組む雰囲気を醸成している。2023年度に知多地方教育計画案作成委員、2022年度から2024年度は知多地方教育研究会学校体育部会の役員を務め、知多地区の学校体育のより一層の発展に貢献した。
56	1	知多市立八幡中学校	教諭	杉浦 千絵	女	3	愛知県立半田特別支援学校で勤務した経験を活かし、2020年度から勤務校の通級指導を担当し、生徒や保護者の思いに寄り添った指導・支援を通して、本校の通級指導の充実に貢献している。さらに、知多地方教育研究会の通級指導担当代表として知多管内の教職員に本校の取組を紹介するなど、模範となる活躍をしている。

## 教職員表彰受賞者名簿

【中学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
57	1	東浦町立 北部 中学校	教諭	石川 雄一朗	男	3	2011年度に小学校音楽、2021年度に中学校音楽の知多地方教育計画案の作成委員を務め、知多地方の教育課程の編制に大きく貢献した。特別支援教育コーディネータースキルアップ研修に参加し、そこで学んだことを町内の特別支援担当の教員に対して還元した。
58	1	岡崎市立 美川 中学校	教諭	松金 正樹	男	3	2009、2011年度に全国算数・数学研究大会で実践提案を行った。岡崎市教育論文においては、4年間にわたり優秀・佳作と受賞し、さらに「算数科の深い学びを実践する21の授業づくり」で小学4年生実践を執筆するなど、授業研究に熱心である。2009年度から13年間、岡崎市現職研修委員会算数数学部の世話係を務め、算数数学部の発展に貢献している。
59	1	岡崎市立 福岡 中学校	教諭	稲吉 菜美子	女	3	岡崎市現職研修委員会理科部世話係を2023年度から2025年度まで3年間務め、係内の様々な業務をこなし、その誠実な取組により、他係員からの信頼が厚い。2020年度の愛知県小中学校理科教育研究発表会では、岡崎市の代表として運営委員を務めた。岡崎市教育論文では、2019年度に優秀賞を受賞している。丁寧な授業は他の教員の模範である。
60	1	岡崎市立 岩津 中学校	教諭	鈴木 隆	男	3	岡崎市現職研修委員会保健体育部の世話係を6年間務め、世話係長として部会の核となり、体育部を牽引した。岡崎市教育委員会特別委員会「学校教育活動研究委員会」や「新しい学校デザイン推進委員会教職員の意識調査」の委員を務め、全市的に活躍している。堅実に業務を遂行し、勤務校においての職員の信頼も厚い。
61	1	岡崎市立 竜南 中学校	教諭	浅井 有紀	女	3	児童生徒の実態に合わせた題材を考案したり、発想力に重点をおいたダイナミックな作品づくりに取り組んできた。導入や鑑賞の活動を通して子どもの制作意欲や発想力を高める指導が優れており、他の模範となる取組が素晴らしい。岡崎市現職研修委員会美術部の世話係歴が長く、論文の入賞実績も豊富である。
62	1	碧南市立 南 中学校	教諭	重松 利有	女	1	2017年度教職員等中央研修に参加し、愛知県学校教育研究会にて研修報告を行った。多分野（特別活動・学校行事・道徳・総合的な学習の時間等）の研究や研修に勤しみ、学校や市における中心的役割を担うとともに、研究発表等で実践の紹介や伝達をするなど、各分野の普及・発展に寄与することができた。
63	1	豊田市立 崇化館 中学校	教諭	栗田 克彦	男	2	国語教育の指導法の改善に取り組み、話す力・読む力を高める授業づくりについて研究を続けた。長年の研究成果を生かして、豊田市内の授業研究会等で指導・助言を行い、国語教育の充実に貢献した。さらに、教務主任として自校の外国人生徒のために日本語教育の工夫改善に努めている。温和で誠実な人柄は、職場に安心感をもたらし、教職員からの信頼も厚い。
64	1	豊田市立 高橋 中学校	主幹 教諭	松下 佳央	男	2	何事に対しても前向きに取り組む姿勢と、誠実な仕事ぶりは他の模範である。2018年度に全国情報誌「学校とICT」主催フォーラムでの実践発表、2020年度に県教科用図書選定審議会調査研究委員を務めるなど、ICT教育や教科指導で活躍してきた。現任教務主任では、研究推進の先頭に立ち、広い視野で職員に適切な声かけをするなど、主幹教諭として活躍している。
65	1	豊田市立 保見 中学校	主幹 教諭	浦地 弘典	男	2	2024年度から外国人児童生徒等教育において顕著な功績をあげた。とくに、文部科学省委託「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」の発表会で、自分が取り組んできたユニバーサルデザイン授業の成果を発表した。また、県が進める衣台高校との連携型入試の実施に向けて、様々な交流事業で主導的な役割を果たした。
66	1	高浜市立 南 中学校	教諭	濱武 茉莉子	女	2	保健主事として不登校生徒適応教室の運営に精力的に取り組み、指導・支援体制の確立に貢献した。特別支援教育コーディネーターとして、指導・助言を適切に行い、円滑で効果的な相談、連絡体制の構築に力を尽くしている。職務遂行における真摯な姿勢は他の模範である。

## 教職員表彰受賞者名簿

【中学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
67	1	豊橋市立 北部 中学校	教諭	やまぐち 山口 貴司	男	2	豊橋市教科等指導員（算数・数学）として、市内小中学校の授業研究や現職研修等で、的確な指導・助言を行った。先進的な問題解決型学習の開発や研究実践を基に卓越した知見を活かし、市内外の算数・数学教育の発展に貢献してきた。現在では、三河・県における研究大会等での助言者として欠かせない存在である。
68	1	豊川市立 西部 中学校	教諭	みやの 宮野 匡	男	2	学年主任として、生徒の実態に合わせた学年経営を実践し、他学年とも連携しながら学校運営の一役を担った。豊川市教科等指導員（音楽）として、授業改善の視点や個に応じた指導の充実について指導・助言した。現在も、市内の初任者への指導や師範授業を行うとともに、校務主任として後進の育成に尽力している。
69	1	豊川市立 金屋 中学校	教諭	いとう 伊東 利典	男	2	豊川市内外で、教育に係る様々な取組に携わり、愛知県教科用図書選定審議会調査研究委員として、専門的かつ膨大な調査・研究を行い、その重責を果たした。こうした経験は、学校経営を円滑に進める原動力となり、多角的な視点から学校の抱える課題解決を図っている。現在、教務主任として教員の力量向上に尽力している。
70	1	蒲郡市立 三谷 中学校	養護 教諭	とみみや 富宮 美佐子	女	2	責任感をもって仕事を行い、児童生徒や教職員、保護者からの信頼が厚い。主任養護教諭として、蒲郡市内養護教諭にきめ細かな指導・助言を行っている。養護教諭部会や学校保健会のとりまとめや若手養護教諭の指導等、その労をいとわない姿勢は、他の養護教諭の模範となっている。
71	1	東栄町立 東栄 中学校	教諭	とおやま 遠山 嘉苗	女	3	明朗、温和で誰からも信頼され、教務主任を誠実に務めている。複式校に在籍した5年間には、教務主任と複式担任を兼ねて、少人数で高め合う指導法の研究を深めた。現在も特別支援学級の担任を兼ね、他の模範となる学級経営を行っている。本年度は、文部科学省の「教育相談基幹研修」を受講し、実績を積み上げている。

# 教職員表彰受賞者名簿

【高等学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
72	1	愛知県立城北つばさ高等学校	教諭	植村 元統	男	2	生徒指導主事として、冷静な判断力と幅広い視野を持ち、多様な生徒に個別支援を行い、信頼関係を築いている。生徒の実情や社会の変化を捉え、生徒指導方針の積極的な改善を行つた。高等学校教育課程課題研究研究員を務め、授業研究の意欲も高い。管理職をはじめとして多くの教職員から信頼されている。
73	1	愛知県立愛知商業高等学校	教諭	田中 由紀子	女	2	多くの地域連携や企業との共同商品開発をはじめ、常にアップデートした取組を自ら実践すると共に、高いリーダーシップにより、学校全体を巻き込みながら、チーム学校としてまとめ上げている。また、愛知県及び東海四県商業教育振興会事務局として、商業教育を支え、校内外のみならず校外の教職員からの信頼も非常に厚い。
74	1	愛知県立中川青高等学校	教諭	三嶋 健二	男	2	教務主任として、県内他校に前例のない全日制単位制専門学科のカリキュラム運営及び、不登校経験者、外国にルーツをもつ者など、多様な生徒に対応している。さらに、多種にわたる入学者選抜業務も的確に遂行し、学校運営の中心的役割を果たし周囲からの信頼も厚い。
75	2	愛知県立犬山総合高等学校	教諭	武田 直己	男	1	「探究型総合学科」を目指し、問題解決学習の企画・立案・実践を的確にこなし、総合学科推進のリーダーとして、現行の各種プログラムを創造するとともに、教育活動による生徒の自己肯定感・有用感の向上に大きく寄与した。探究学習に関する教育活動のアイデアは常に更新が図られ、特色ある教育活動の実現に貢献している。
76	1	愛知県立西春高等学校	教諭	成田 敦彦	男	1	I C Tを活用した進取的な教科指導を実践し、教務主任及び県総合教育センター「探究的な授業づくりに関する研究」研究協力校の委員として、勤務校の授業改善に率先して取り組んでいる。愛知県生物地学研究委員会や愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部の委員として愛知県の理科教育の充実と発展に寄与している。協働しながら丁寧に課題を解決する姿勢が他の教職員の模範となっている。
77	1	愛知県立津島高等学校	教諭	西川 香織	女	1	数学科教諭として生徒の学力向上並びに自身の教授力向上に熱心に取り組んだ。愛知県高等学校数学研究会が主催する新入生テストの作成・評価に携わった他、全国算数・数学教育研究大会など研究大会等で実践事例を発表し、その成果を各校に還元している。現在は「探究的な学び」の実践において活躍している。
78	1	愛知県立半田高等学校	教諭	齋藤 夕紀子	女	1	学校設定科目「家庭探究」を編成し、生産活動を行う生産者を生徒が直接訪問し、対話を通じて身近な「食」分野について科学的知見に基づいて考える契機を作っている。知多半島の「食」についての理解を深め、そこに潜む課題に着目し、その解決策を探究する姿勢を養っている。
79	1	愛知県立大府高等学校	教諭	石神 有介	男	2	2023年度から2024年度にかけて高等学校教育課程課題研究員として活躍し、2024年度は全国発表をするなど、成果を勤務校のみならず、県内外の高校に還元できた。また、教務主任として成績処理の工夫改善を進めるなど、他の教員からの信頼が極めて厚い。
80	1	愛知県立大府東高等学校	教諭	古橋 孝輔	男	2	2024年度より県総合教育センターの研究員として「特別な支援を必要とする子どもの卒業後の生活へのスムーズな移行に関する研究」を行い、成果をまとめるなど教育課題の解決に尽力している。また、進路指導主事として校内の指導体制の改善に、先頭に立って取り組んでいる。
81	2	愛知県立豊田高等学校	教諭	長屋 尚太	男	2	2021年度の業務改善実践モデル校、2024年度の「あいちラーニング推進事業」で校内主担当を務め、欠席連絡のWE B化や学習講座・部活動の見直し、I C T活用の推進、教員研修の企画・実施などを通じて教育環境の向上に貢献している。県内外の先進校の視察を重ね、教務主任として校内の授業改善を推進している。

## 教職員表彰受賞者名簿

【高等学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
82	2	愛知県立岡崎商業高等学校	教諭	おがわ 小川 ゆり恵	女	2	実直で責任感が強く、前向きな姿勢で信頼を得ている。生徒や保護者にも誠実に向き合い、若手教員でありながら学年主任や学科主任として成果を上げている。高等学校教育課程課題研究研究員としても商業教育の推進に尽力し、教員の模範としてリーダーシップを発揮している。
83	1	愛知県立高浜高等学校	教諭	わたなべ 渡邊 ともあき 友章	男	2	教務主任として周囲からの信頼も厚く、誠実に業務に取り組んでいる。実態に合わせた教育課程の変更を提案し、周囲と調整しながら実現に向け尽力している。高等学校教育課程課題研究研究員を務め、授業改善に対する造詣を深めるとともに、校内の現職研修においてもリーダーシップを発揮し本校の教育力向上に大いに貢献している。
84	1	愛知県立御津あおば高等学校	教諭	かとう 加藤 のぶひろ 信広	男	2	全日制と昼間定時制を兼務する学年主任として、熱意をもって指導にあたっている。外国人生徒、不登校の経験がある生徒及び特別な支援を必要とする生徒など、多様性に富んだ生徒集団であるが、卓越した生徒指導力とリーダーシップをもって学年をまとめ、信頼を集めている。新しい学校のパイオニア的な存在である。
85	1	愛知県立三谷水産高等学校	教諭	おおしま 大島 寛俊	男	2	特別支援教育の視点が求められる中で、2023年度から教育相談を担当し、2024年度は特別支援教育コーディネーターとして、個別の教育支援計画の作成及び生徒のカウンセリングに意欲的に取り組んだ。また、発達障害等指導困難な生徒への対応、保護者支援にも力を発揮している。

## 教職員表彰受賞者名簿

## 【特別支援学校】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
86	1	愛知県立岡崎盲学校	教諭	大窪 久絵	女	2	視覚障害教育における高い識見を有している。研修意欲が旺盛であり、積極的に校外の研修に参加し、研修で得た知見を校内に還元することで学校全体の教育力の向上に寄与している。数多くの研修講師を担い、視覚障害教育の発展、その担い手である若手の育成に尽力している。今後の特別支援教育の中核を担う存在である。
87	1	愛知県立名古屋聾学校	教諭	茅野 奈保子	女	1	学科主任として、外部機関と連携を図りながら学科改編や新たな教育課程の編成に尽力し、成果を研究大会や雑誌で発表するなど、全国の特別支援教育の推進に寄与した。また、教務主任としても常に課題意識をもち、リーダーシップを發揮するなど、他の教職員の模範となる等、誰からも信頼が厚く、調和を保って統率する力に長けている。
88	1	愛知県立みあい特別支援学校	教諭	星野 貴美	女	3	自立活動部主任として、知的障害のある児童生徒に対する確かな教育実践を、発信力を發揮しながら地道に取り組んでいる。校内だけでなく地域の研修会や県総合教育センター主催の研修において講師を歴任し、若手や中堅教員の専門性の育成に大きく貢献した。さらに多くの自己研鑽を継続して行うなど、他の教職員の模範となっている。
89	1	愛知県立春日井高等学校特別支援学校	寄宿舎指導員	竹内 香織	女	3	長年寄宿舎指導員として、生徒一人一人に寄り添い、生徒の社会自立のために地道に根気よく舎生を指導し、安心して生活できる環境づくりに尽力した。厳しさの中にも温かさがあり、生徒や職員、及び保護者からの信頼が厚い。
90	1	愛知県立豊田高等学校特別支援学校	教諭	辻 望美	女	3	進路指導主事として、生徒の希望進路の実現に向けて、積極的に企業等へ働きかけを行っている。責任感と使命感、丁寧かつ熱意のある地道な努力により、障害者への理解が進み、障害者雇用につなげてきた。障害のある生徒の進路選択、進路決定、社会参加、社会自立に貢献している。
91	1	愛知県立名古屋特別支援学校	教諭	柴土 賢治	男	3	児童生徒への深い愛情をもち、學習への意欲や気付きを促す授業実践を堅実に積み重ねている。2013年度からの3年間は愛知県肢体不自由教育研究協議会の中心的委員として冊子「未来へとつなぐキャリア教育」の編集に大きく貢献した。常に謙虚な姿勢で物事に真摯に向き合い、長年に渡って教育活動を下支えしている姿は他の模範となっている。
92	1	愛知県立ひいらぎ特別支援学校	栄養教諭	岩田 紗子	女	3	肢体不自由特別支援学校の栄養教諭として、アレルギー食だけでなく多様な食形態に対応した安全な給食を実施している。食に関する授業や情報発信にも尽力し、学校の実態に合わせた食育の推進を行う。また、保護者への講話などを通して、校内の食の取組への理解促進に努めている。

## 教職員表彰受賞者名簿

【事務職員】

部門の「1」は教職員表彰、「2」は若手教職員等奨励賞を表す

No	部門	学校名	職名	氏名	性別	表彰項目	実践内容
93	1	扶桑町立扶桑北中学校	主任	磯村 徳人	男	2	県公立小中学校事務職員研究会において、2017年に県大会実行委員、2023年度に事務局次長、2024年度から事務局長を務めるなど、同研究会の中心的存在として幅広く活躍している。また、学校では、地域の実情を熟知しているため、地域連携・協働に大きく貢献し、チーム学校の一員として欠かせない役割を果たしている。
94	1	美浜町立野間中学校	主任	下永田 悠揮	男	2	2020年度から2023年度には、県公立学校事務職員研究会研修企画部副部長として、県教育委員会総務課や県総合教育センターと連携し、研修制度の充実やキャリア形成の検討に尽力し、県全体の事務職員の資質向上に貢献している。美浜町共同学校事務室では副室長を務め、効率的かつ適正な業務処理を進め、中心的存在として活躍している。
95	1	豊橋市立幸小学校	主査	清水 麻美子	女	2	2024年度から県公立小中学校事務職員研究会会計として、県全体の事務職員の在り方や、共同学校事務室についての研究の一翼を担っている。さらに、2020年度から豊橋市ブロック共同学校事務室長として、共同学校事務室の円滑な運営に努め事務職員の校務運営への参画を進めるとともに、事務職員全体のスキルアップを図っている。